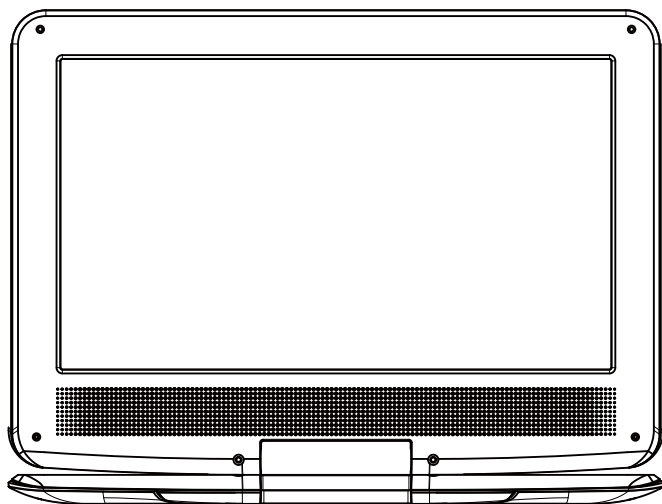


取扱説明書・保証書**製品名****14インチポータブル
DVD プレーヤー****KPD-N140(B)**

お買い上げいただきありがとうございました。
なお、この取扱説明書（保証書付）は、大切に
保管してください。

万一ご使用中にわからないことや不都合が
生じたとき、きっとお役に立ちます。

**キュリオムサポートセンター****0570-00-9106****月～金 午前10時～午後5時30分****（土・日・祝祭日・年末年始を除く）**

※ ナビダイヤルは一部の電話では
ご利用になれない場合がございます。

メールでのお問い合わせ：

E-mail : support@qriom.com**← YAMAZENBOOK
商品の詳細はこちら**

本製品のお取り扱い上のご注意

このたびは、当社製品をお買い求めいただき、誠にありがとうございます。
本製品のお取り扱いに関しましてご案内いたします。

正しくお使いいただくために下記の点に注意してください。

●機器をご使用になる前に

まず機器にアダプターを接続してください。

機器の起動には、側面にある主電源スイッチを ON にしてください。

※主電源スイッチが OFF になっていると、全ての操作を受け付けません。

●電源アダプター使用上のご注意

①シガー電源アダプターの必要以上の抜き差しはお控えください。またはシガー電源アダプター / AC 電源アダプターの端子やコードを必要以上に動かしたりさわったりすることはおひかえください。

(故障や接触不良の原因となります。)

②付属のシガー電源アダプターは DC12V 専用です。DC12V 車のシガープラグへ直接接続してください。電圧変換器 (DC - DC コンバーター等) を使用すると故障の原因になることがございます。

●各種メディアを再生する前に

市販の DVD/CD ディスク以外のレコーダーやパソコンなどで作成したデータの再生についてご自身で作成されたメディアやファイルについては作成環境も多岐にわたるため、本書に記載された対応形式であっても再生出来ない場合もあります。デジタル放送を録画した CPRM ディスクは VR モードのみ対応可能です。

CPRM ディスクは読み込みに時間がかかったり、認識出来ない場合もあります。

※ブルーレイディスクは再生できません。

●AV 出力機能

本製品で DVD モードで再生しているものは外部へ出力することが可能です。

※接続コードは、必ず付属のコードをご使用ください。市販のコードを使用した場合、再生出来なかったり故障の原因となることがあります。

目次

目次	2
1 はじめに	3
安全上のご注意	3
ディスクの取り扱いについて	4
再生可能なディスク	5
再生可能なリージョン	5
著作権について	5
2 使用上のお願い	6
3 ご使用の前に	9
主な特徴	9
セット内容	9
4 本体各部の名称・機能	10
本体各部の名称	10
本体各部の機能	11
5 リモコンの各部名称・機能	13
リモコンの各部名称	13
リモコンの各部機能	14
6 設定ボタンの説明	16
基本設定	16
デジタル設定	17
映像設定	17
選択設定	17
7 リモコン・本体の準備および接続	18
リモコンの準備	18
リモコンの操作範囲	18
外部機器の接続	19
電源の接続	20
乾電池・充電電池の挿入	20
乾電池・充電電池での使用について	21
電池持続時間の目安	22
LCDパネルを回転する	23
本体収納ケースを使う	23
8 DVDモードで再生	24
ディスク(DVD/CD)を入れる	24
SDカード/USBメモリを再生させる	24
9 CDリッピング(ダイレクト録音)機能	25
リッピング(変換)する	25
データの削除、コピー	27
11 ご注意	28
12 主な仕様	29
13 故障かなと思ったら	30

1 はじめに

安全上のご注意

※ご使用前に「安全上のご注意」と「取扱説明書」の内容をよくお読みのうえ、正しくお使いください。

※ここに示した項目は、製品を安全に正しくお使い頂きお使いになる人や他の人々への危害や財産への損害を未然に防ぐものです。また、危害や損害の大きさと切迫の程度を明示するために、誤った取り扱いをすると生じることが想定される内容を「警告」「注意」の2つに区分しています。いずれも安全に関する重要な内容ですので、必ず守ってください。

警告

この表示を無視して誤った取り扱いをすると、人が死亡、または重傷を負う可能性が想定される内容を表示しています。

注意


この表示を無視して誤った取り扱いをすると、人が傷害を負う可能性、および物的損害の発生が想定される内容を示しています。

●アイコンの表示例

⊘記号は、禁止の行為であることを告げるものです。図の中や近くに具体的な禁止内容が書かれています。

 左図の場合は「分解禁止」を表しています。

●記号は行為を強制したり指示したりする内容を告げるものです。図の中に具体的な指示をする内容が書かれています。

 左図の場合は「電源プラグをコンセントから抜いてください」を表しています。

警告



濡れ禁止

本体内部に水や異物を入れない

火災や感電、故障の原因になります。



浴室使用
禁止

浴室、シャワー室など湿気がある場所では使用しない

火災や感電、故障の原因になります。



濡れ手
禁止

濡れた手で電源プラグを抜き差ししない

火災や感電、故障の原因になります。



禁止

自動車やオートバイの運転中は使用しない

運転中の機器の操作は交通事故の原因になります。



禁止

煙が出たり、異常な音やにおいがするなど、異常な状態のまま使用しない

火災や感電、故障の原因になります。



指示に
従う

定格電圧以外の電圧では使用しない

機器の故障や、火災や感電の原因になります。



分解禁止

修理技術者以外の人は、絶対に分解したり修理・改造は行わないでください

発火したり、異常動作をしてケガの原因になります。

⚠️注意



電源プラグを抜くときは、電源コードを持たずに、必ず電源プラグを持って引き抜く

濡れ禁止

感電やショートして発火する恐れがあります。



初めからボリュームを上げすぎない

禁止

突然大きな音が出て耳を痛める原因となります。



湿度の高い所やほこりのある場所で使用しない

禁止

火災や感電、故障の原因になります。



自動車内など高温になる場所に放置しない

禁止

機器の変形や故障の原因になります。



再生中に本体の移動はしない

禁止

ディスクが高速回転していますので、中のディスクが傷ついたり破損するおそれがあります。

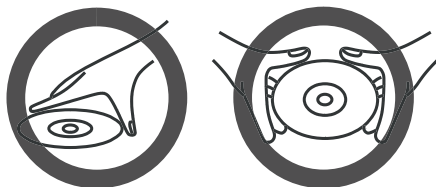
ディスクの取り扱いについて

※ CD および DVD は、ほこり、汚れや引っかき傷が付かないように、慎重に取り扱ってください。

※ 引っかき傷、汚れ、ほこりなどから CD および DVD を常に保護してください。使用していないときは CD および DVD を購入したときに入っていたケースに入れて保護することをお勧めします。

※ CD および DVD にほこりや引っかき傷が付いたり歪んだりすると、音や映像が飛んだり途切れたり、または雑音が発生する原因となります。

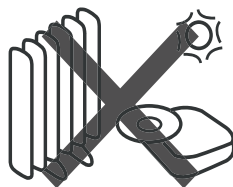
※ CD および DVD を持つときは、プレイ面に触れないように注意してください。



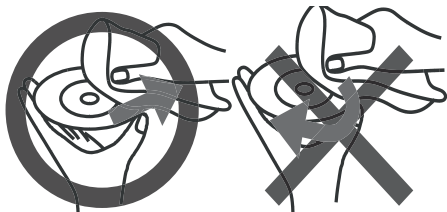
※ CD および DVD はケースに入れて保管してください。ラベルが貼られている面を上にしてラベル面を軽く押してケースに収納してください。

※ CD および DVD は暖房機器の近く、温度が高い場所または、ほこりの多い場所には置かないで下さい。

※ ボールペンでラベル面に文字を書かないでください。CD および DVD にラベルまたはシールなどを貼らないで下さい。



- ※ CD および DVD のプレイ面に付着したほこりや汚れや指紋はやわらかい布を使い、CD および DVD の内側から外側に向かって拭き取ってください。絶対に円を描くように拭かないでください。
- ※従来のレコードクリーナー、帯電防止剤、ベンゼン、シンナー、その他の溶剤は使用しないでください。



再生可能なディスク

DVD-R/DL、DVD-RW (DVD-Video)

- ※ディスクの品質や記録状態によっては正常に再生出来ない場合があります。
- ※ファイナライズされていない状態では再生できません。

DVD-R/DL、DVD-RW (DVD-VR CPRM)

- ※ディスクの品質や記録状態によっては正常に再生できない場合があります。
- ※ファイナライズされていない状態では再生できません。

CD-R/RW (CD-DA/MP3/JPEG 形式)

- ※ディスクの品質や記録状態によっては正常に再生できない場合があります。

再生可能なリージョン

※本機では再生できるリージョンコードは【2】と【ALL】です。

リージョンコードとは DVD および DVD 再生機器に割り当てられた地域番号です。

DVD ディスクと DVD 再生機器のリージョンコードが一致していないと再生できません。



著作権について

※ディスクを無断で複製、放送、上映、有線放送、公開することや、有償、無償を問わずレンタルする事は法律により禁止されています。

※ビデオデッキなどを接続してディスクの内容を複製しても、コピーガード機能により複製された映像は乱れます。

※ DVD ロゴは商標です。

2 使用上のお願い

お使いになる人や他の人への危害、財産への損害を未然に防止するため、必ずお守りいただきたいこと。

本機の取り扱いについて

- 液晶画面を傷つけたり衝撃をあたえないでください。液晶が破損し、故障の原因になります。
- 引っ越しなど、遠くへ運ぶときは、梱包材を使用し振動が伝わらないように、また外観や液晶パネルに傷がつかないようにしてください。
- 殺虫剤、芳香剤や揮発性のものをかけたりしないでください。またゴムやビニール製品などを長時間接触させないでください。変色したり、塗装がはげるなどの原因になります。
- 長時間ご使用になっていると本体が多少熱くなりますが、故障ではありません。
- ふだん使用しないときは、ディスクを取り出し電源を切っておいてください。
- 長時間使用しないときは機能に支障をきたす場合がありますのでときどき電源を入れて使用してください。

置き場所について

- 本機は水平な場所に設置してください。不安定な場所や傾いている所、走行中の車内など不安定な場所で使わないでください。ディスクがはずれるなどして、故障の原因となります。
- 直射日光のあたる場所、熱器具の近く、締めきった車内など温度が高くなる場所に置かないでください。故障の原因となります。
- 本機をテレビやラジオ、ビデオの近くに置く場合には、本機で再生中の画像や音声に悪い影響を与えることがあります。万一、このような症状が発生した場合はテレビやラジオ、ビデオから離してください。

お手入れについて

- 本体操作パネル部分のよごれは柔らかい布で軽く拭き取ってください。ベンジン、シンナー、アルコール等の有機溶剤は絶対使用しないでください。変色したり塗装がはげたりする原因となります。
- 液晶画面に付いたよごれなどは、乾いた柔らかい布で拭き取ってください。

レーザー製品について

- 本機は、レーザーシステムを使用しています。本製品を正しくお使いいただくため、この取扱説明書をよくお読みください。また、お読みいただいたあとも必ず保管してください。修理などが必要な場合は、お買い求めの販売店に依頼してください。
- 本取扱説明書に記載された以外の調整・改造をおこなうとレーザー被爆の原因になりますので絶対におやめください。
- 本機には、映像信号の読み取りのためにレーザーを使っています。弱いレーザー光のため人体に影響はありませんが、安全のため絶対に製品を分解しないでください。

結露（露付き）について

結露（露付き）とは、よく冷えた飲料水をコップにそそぐと、コップの表面に水滴がつきます。これを結露（露付き）といいます。同じような現象として、製品内部のピックアップレンズや部品、部品内部など水滴がつくことがあります。

●結露に注意する

- ・本機を寒いところから、急に暖かいところに移動したとき
- ・暖房をつけ始めたばかりの部屋や、エアコンなどの冷風が直接あたる場所に置いたとき
- ・夏季に冷房のきいた部屋・車内などから急に温度、湿度の高いところに移動したとき
- ・湯気が立ちこめるなど、湿気の多い部屋に置いたとき

●結露がおきそうなときは、本機をすぐに停止する

結露がおきた状態で本機を使用すると、ディスクや部品を傷めることがあります。ディスクを取り出し、本機の電源を入れておくと、本機があたたまり水滴が取れますので、しばらく放置してからご使用ください。

お車での使用について

- 移動中、運転中の視聴および操作は大変危険ですのでおやめください。
- 誤った電源を使用すると故障やショートの原因となります。必ず付属の車載用シガーアダプタをご使用ください。付属のシガーアダプタはDC12V専用です。電圧DC-DCコンバーター等の電圧変換器などは使用しないでください。
- 自動車のエンジン始動時は、シガーソケットからの電源供給が不安定です。本製品を車載で使用する場合、DCアダプターを差し込んだままエンジンを始動すると、DVDプレーヤー本体に無理な負荷をかけ故障の原因となる場合があります。機器の接続は、エンジンがかかった状態で行なってください。また電源分配機に接続していると電源供給が不安定なため正常に動作できない場合があります。
- 自動車エンジンの始動時と停止後再始動された状態のときに本機が正常に動作しない場合がございます。エンジンの再始動時は電圧が不安定になりますので、自動車メーカー、ディーラー等にもご相談ください。
- 真夏・真冬の車内等、過酷な状況下での使用や置き去りは故障の原因となり、非常に危険です。絶対におやめください。本製品の保存温度内としてください。(P28 参照)
- 自動車のエンジンがスタートおよび再スタート(アイドリングSTOP機能)する際、シガーソケットの電圧降下が発生すると、プレーヤー本体が誤動作することがありますのでご注意ください。

DVD や CD および各種メディア再生について

- ピックアップのヘッド(ディスクを読み取るレンズ)には触れないでください。
- ディスクトレイにはDVD、CD以外のものは挿入しないでください。またUSBポートとSDスロットに異物を挿入しないでください。
- ディスクをセットするときは1枚だけを使用し、読み取り面を下にして中央のターンテーブルにカチッと音がするまで差し込んでください。
- CD-R/RW、DVD-R/RW および各種メディアを使用する場合は、ファイルの種類または作成されるレコーダーやPC等の互換性やデータの保存形式によって再生できないものがあります。そのためすべてのメディアの再生は保証できません。
- 本機で再生する前に、必ず作成したレコーダーでファイナライズ処理をしてください。
- 大きいサイズのデータや大容量メディアについては読み込みが遅かったり、認識できない場合があります。
- 本機で再生できるCPRMディスクは固定画質で記録したVRモードのみです。ディスク容量を有効に利用するために1つの動画内で画質を自動的に変更するAUTOなどの画質で記録したディスクは再生できません。

メモリーカードについて

- メモリーカードの容量やメーカーによっては、再生できない場合があります。対応していない種類のメモリーカードを本機に挿入しないでください。未対応のメモリーカードを挿入した場合、本機およびメモリーカードが故障 / 破損するおそれがあります。
- 大切なデータはバックアップをとっておくことをお勧めします。本機でメモリーカードを使用することによって、万一何らかの不具合が発生した場合でも、データの損失や記録できなかったデータの保証、およびこれらにかかわるその他の直接または間接の損害につきましては、当社は責任を負いかねますのであらかじめご了承ください。
- メモリーカードの取り扱いかたについては、各メモリーカードの取扱説明書をご観覧ください。
- 通常のご使用でデータが破損（消滅）する事はありませんが、誤った使い方をするとデータが破損（消滅）する事があります。記録されたデータの破損（消滅）については、故障や損害の内容・原因に関わらず当社は一切その責任を負いかねますので、あらかじめご了承ください。
- メモリーカードを本機に差し込むときは、上下（表裏）の向きに注意して、最後までしっかり差し込んでください。
- メモリーカードへの書き込み、読み出し中は、本機の電源を切ったり、メモリーカードを取り出したりしないでください。記録されているデータが破壊されるおそれがあります。
- メモリーカードは精密部品です。折り曲げたり、落としたりなど無理な力や強い衝撃をあてないでください。
- 強い磁場や静電気が発生するところでの使用や保管はしないでください。
- 高温多湿なところやほこり、油煙の多い場所での使用や保管はしないでください。
- メモリーカードを持ち歩いたり、保管をするときには静電気防止ケースに入れてください。
- 直射日光があたる場所やストーブやヒーターなどの熱源のそばに放置すると、故障の原因になる事があります。
- ズボンやスカートのうしろポケットに入れたまま、座席や椅子などに座らないでください。破損、故障の原因となります。
- 本機から取り出したメモリーカードが熱くなっていることがあります。故障ではありません。
- メモリーカードには寿命があります。長時間使用するうちに書き込みや消去が出来なくなった場合には、新しいメモリーカードをお買い求め下さい。

3 ご使用の前に

接続と操作を行なう前にこの取扱説明書をよくお読みくださいようお願いいたします。また、将来の参照用説明書として保存されることをお勧めいたします。本機は最先端の技術を駆使し小型・軽量化されており、簡単に操作できるように設計されています。ホテル、事務所、家庭等どこでも持ち運びに便利な DVD プレーヤーです。

※本書は仕様変更のため、予告なく変更する場合がありますのでご了承ください。

主な特徴

- 14インチ TFT LCD (16:9)
- 再生メディア：DVD、DVD-R/DL、DVD-RW、CD、CD-R/RW
SD/USBメモリ(最大32GBまで)
- 再生フォーマット：DVD-Video、DVD-VR CPRM、CD-DA、MPEG4、MP3、JPEG
- 再生コントロール機能：再生、一時停止、早送り、早戻し、停止
- 画面のアスペクト比：16:9
- 3電源対応：(AC/DC/単3形電池10本)
- USBポート、SDカードをサポート
- 音飛びや画像の乱れを防止するアンチショック機能を採用
- 音楽CDのデータをSDカードまたはUSBメモリにリッピング(録音)可能

ご注意

本製品での動画再生は動画 Xvid+ 音声 mp3 拡張子 avi の MPEG4 動画ファイルでの動作を確認しております。携帯電話やビデオカメラなどで撮影したSDカードを直接挿入しても再生できない場合があります。

詳しくは動画撮影する機器の取扱説明書をご確認ください。

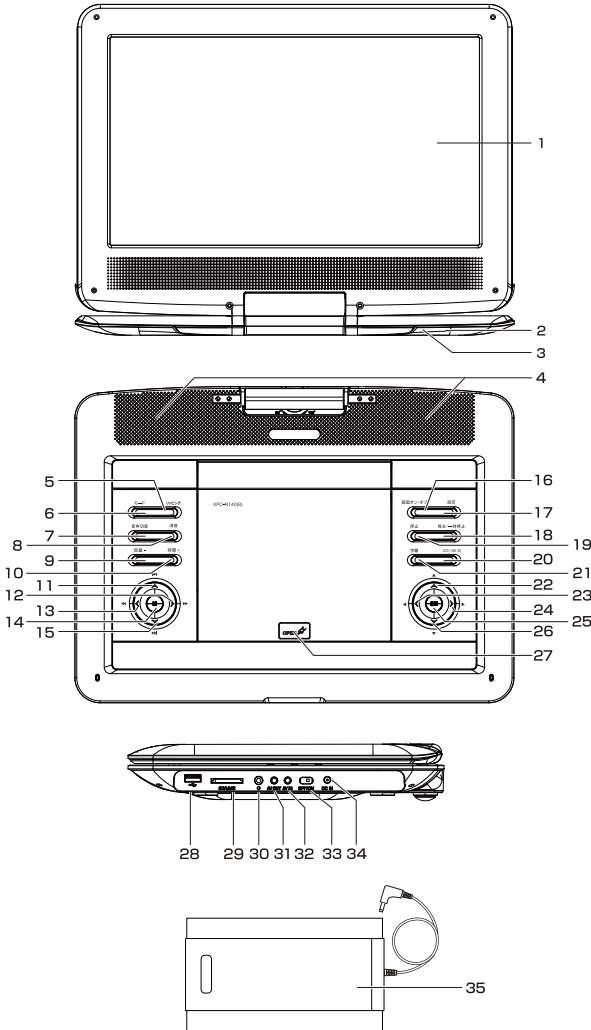
セット内容

以下がそろっているかを確認してください。不足品がありましたら弊社までお問い合わせください。また、改良のため予告なく製品内容が変更されることもありますのであらかじめご了承ください。

1. DVDプレーヤー本体×1
2. リモコン×1
3. 単4形乾電池(リモコン初期動作確認用)×2
4. 家庭用AC電源アダプター(AC100V-240V)×1
5. カーアダプター【車載用シガー電源アダプター】(DC12V専用)×1
6. 外付け乾電池ケース×1
7. AVケーブル×1
8. 車載ヘッドレスト取付け用本体収納ケース×1
9. 取扱説明書(保証書付き)×1

4 本体各部の名称・機能

本体各部の名称



1. LCDパネル
2. 電源表示
3. リモコン受光部
4. スピーカー
5. リッピング(録音)ボタン
6. モード切換ボタン
7. 音声切換ボタン
8. 消音ボタン
9. 音量-ボタン
10. 音量+ボタン
11. スキップボタン
12. 早送りボタン
13. 早戻しボタン
14. メニューボタン
15. スキップ+ボタン
16. 画面オンオフボタン
17. 設定ボタン
18. 再生/一時停止ボタン
19. 停止ボタン
20. DVD/USB/SDボタン
21. 字幕ボタン
22. カーソル上へボタン
23. カーソル左へボタン
24. カーソル右へボタン
25. OK(決定)ボタン
26. カーソル下へボタン
27. オープンボタン
28. USBポート
29. SD/MMCカードスロット
30. イヤホン端子
31. AV出力端子
32. AV入力端子
33. 電源スイッチ
34. DC電源入力端子
35. 外付け乾電池ケース

本体各部の機能

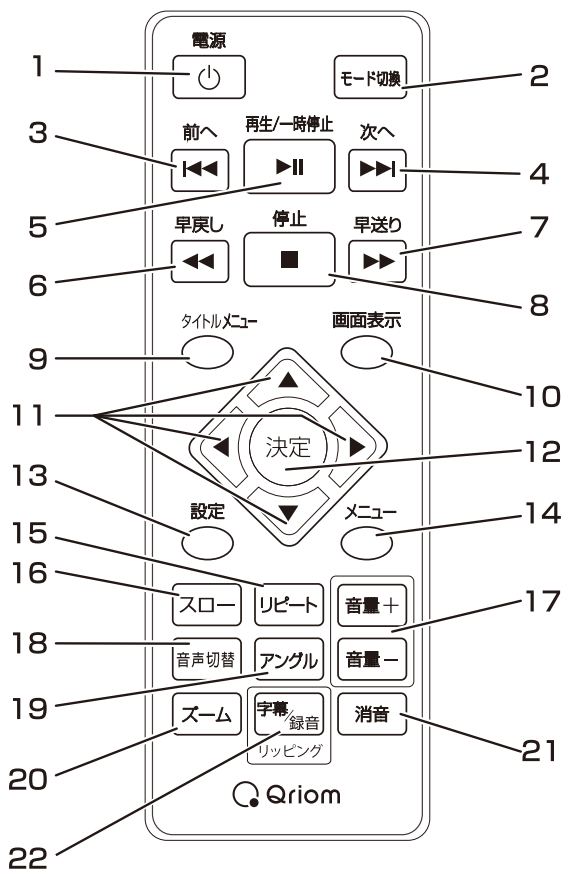
No	名称	表示	機能
1	LCD画面	—	14インチ液晶画面
2	電源表示	—	電源が入ると緑色に点灯します。
3	リモコン受光部	—	リモコンからの信号を受けます。
4	スピーカー	—	スピーカー X 2
5	リップング (録音)ボタン	リップング	音楽CDをSDカードまたはUSBメモリに録音するときに押します。
6	モード切換ボタン	モード	DVD/AVIN (ビデオ音声入力) /MEDIA (SDカード/USBメモリ)の選択をします。
7	音声切替ボタン	音声切替	複数の音声収録されているDVDディスクの再生中、音声を切替える際に使用します。
8	消音ボタン	消音	音声を消します。
9	音量ーボタン	音量ー	音量を下げます。
10	音量+ボタン	音量+	音量を上げます。
11	スキップ ボタン	⏮	前のチャプター、またはトラックにスキップします。
12	早送りボタン	⏭	早送り再生ができます。利用可能なスピードは2X、4X、8X、16X、32Xです。
13	早戻しボタン	⏪	早戻し再生ができます。利用可能なスピードは2X、4X、8X、16X、32Xです。
14	メニューボタン	MENU	DVD再生中のボタンを押すとメニューが表示されます。本体のカーソル上へ/カーソル下へボタンまたは、リモコンのカーソルボタン▲▼でご希望のメニューを選択して下さい。
15	スキップ+ ボタン	⏩	次のチャプター、またはトラックにスキップします。
16	画面オンオフボタン	画面オン/オフ	画面をオンオフします。
17	設定ボタン	設定	設定メニュー画面を表示します。
18	再生/一時停止 ボタン	再生/一時停止	ボタンを押すことにより再生/一時停止の切換えを行ないます。また、早送り、早戻しなどその他の再生状態時に押すと通常再生に戻ります。

本体各部の機能

No	名称	表示	機能
19	停止ボタン	停止	再生中に一回押すと一時停止します。二回押すとスタート位置に戻り停止します。
20	DVD/USB/SDボタン	DVD/USB/SD	DVD/USB/SDの切替をします。
21	字幕ボタン	字幕	複数の字幕が収録されているDVDディスクの再生中、字幕を切り替える際に使用します。
22	カーソル上へボタン	▲	カーソルを上移動します。
23	カーソル左へボタン	◀	カーソルを左に移動します。
24	カーソル右へボタン	▶	カーソルを右に移動します。
25	OK(決定)ボタン	OK	設定、選択した項目を実行します。
26	カーソル下へボタン	▼	カーソルを下に移動します。
27	オープンボタン	OPEN 	本体のディスクカバーが開きます。
28	USBポート		再生用のソースが入ったUSBメモリを挿入します。(最大32GBまで)
29	SD/MMCカードスロット	SD/MMC	再生用のソースが入ったカードを挿入します。(最大32GBまで)
30	イヤホン端子		Φ3.5ステレオミニジャック用のステレオイヤホンを接続できます。
31	AV出力端子	AV OUT	付属のAVケーブルを接続し、本機を外部機器で再生します。(本機→外部機器)
32	AV入力端子	AV IN	付属のAVケーブルを接続し、外部機器を本機で再生します。(外部機器→本機)
33	電源スイッチ	OFF/ON	本体電源のON/OFFを切り換えます。 ※本体の電源をOFFにすると、リモコンではON/OFFできません。リモコン使用時は必ず本体の電源をONにしてご使用ください。
34	DC電源入力端子	DC IN	付属のACアダプターまたはシガー電源アダプターを接続します。
35	外付け乾電池ケース	—	ニッケル水素充電電池単3形×10本(1900mAh以上)のご使用をお勧めします。









5 リモコンの各部名称・機能

リモコンの各部名称



1. 電源ボタン
2. モード切換ボタン
3. 前へ(スキップ) ボタン
4. 次へ(スキップ) ボタン
5. 再生 / 一時停止ボタン
6. 早戻しボタン
7. 早送りボタン
8. 停止ボタン
9. タイトルメニューボタン
10. 画面表示ボタン
11. カーソルボタン
12. 決定ボタン
13. 設定ボタン
14. メニューボタン
15. リピートボタン
16. スローボタン
17. 音量ボタン
18. 音声切替ボタン
19. アングルボタン
20. ズームボタン
21. 消音ボタン
22. 字幕 / 録音 リッピングボタン

リモコンの各部機能

No	名称	表示	機能
1	電源ボタン		本体電源のON/OFFをします。 ※ 本体の電源を OFF にすると、リモコンは ON/OFF 出来ません。 リモコン使用時は必ず本体の電源を ON にしてご使用ください。
2	モード切換ボタン	モード切換	DVD、AV IN、USBメモリ、SDカードの切り換えを行ないます。
3	前へ(スキップ)ボタン		前のチャプター、またはトラックにスキップします。
4	次へ(スキップ)ボタン		次のチャプター、またはトラックにスキップします。
5	再生/一時停止ボタン		ボタンを押すことにより再生/一時停止の切り換えを行ないます。また、早送り、早戻しなどその他の再生状態時に押すと通常再生に戻ります。
6	早戻しボタン		早戻し再生ができます。利用可能なスピードは2X、4X、8X、16X、32Xです。
7	早送りボタン		早送り再生ができます。利用可能なスピードは2X、4X、8X、16X、32Xです。
8	停止ボタン		再生中に一回押すと一時停止します。 二回押すとスタート位置に戻り停止します。
9	タイトルメニューボタン	タイトルメニュー	DVD再生中のボタンを押すとタイトルメニューが表示されます。方向ボタンでご希望のメニューを選択して下さい。タイトルメニューはディスクより内容が違います。
10	画面表示ボタン	画面表示	タイトル、チャプターの再生経過時間を表示することができます。画面オフを押すまで経過時間は表示し続けます。(タイトル経過時間→タイトル残り時間→チャプター経過時間→チャプター残り時間→画面オフ)
11	カーソルボタン		メニューのハイライトされている部分を移動させるのに使用します。
12	決定ボタン	決定	設定、選択した項目を実行します。
13	設定ボタン	設定	設定メニュー画面を表示します。

リモコンの各部機能

No	名 称	表 示	機 能
14	メニューボタン	メニュー	DVD再生中、ボタンを押すことによりDVD内のメニュー画面が表示されます。本体のカーソル上へ/カーソル下へボタンまたは、リモコンのカーソルボタン▲▼でご希望のメニューを選択して下さい。
15	リピートボタン	リピート	ボタンを押すことにより繰り返しモードになります。 DVD(チャプター → タイトル → オール) CD(トラック → オール) ※ 本体、リモコンの電源ボタンをオフにするとリピートは解除されます。
16	スローボタン	スロー	スローで再生します。 1/2、1/4、1/8、1/16の速度に設定できます。
17	音量ボタン	音量±	音量+ボタンを押すと音量が上がります。 音量-ボタンを押すと音量が下がります。
18	音声切替ボタン	音声切替	複数の音声収録されているDVDディスクの再生中、音声を切替える際に使用します。
19	アングルボタン	アングル	複数のアングルが収録されたDVDディスクの再生中、映像のアングルを切替える際に使用します。
20	ズームボタン	ズーム	ボタンを押すごとにズームイン、ズームアウトすることができます。 表示倍率は2X、3X、4X、1/2、1/3、1/4です。 ズームインしたときに方向ボタンで画面の移動ができます。
21	消音ボタン	消音	一時的に音が消えます。元に戻すには、もう一度押すことにより元に戻ります。 ※ 電源ボタンをオフにすると消音設定は解除されます。
22	字幕/録音 リッピングボタン	字幕/録音 リッピング	複数の字幕が収録されているDVDディスクの再生中、字幕を切り替える際に使用します。 音楽CDをSDカードまたはUSBメモリに録音するときに押します。

6 設定ボタンの説明

モード切換ボタンで DVD モードに設定し下記の操作を行ってください。

(これ以降、機器の名称がない場合は、本体とリモコンの共用ボタン操作です。)

1. 設定ボタンを押すと各々の設定メニュー画面が表示されます。
2. カーソルボタン◀▶を押して基本設定、デジタル設定、映像設定、選択設定ページを選択し本体の OK ボタンあるいはリモコンの決定ボタンで決定します。
カーソルボタン◀ ボタンで前の設定画面に戻すことができます。
3. カーソルボタン▲▼で上下に移動し、メニューを選択し、本体の OK ボタンあるいはリモコンの決定ボタンを押して決定します。
カーソルボタン▲▼を押して右側のサブメニューを表示することもできます。
4. 決定したメニューからサブメニューの選択内容をリモコンのカーソルボタン▲▼で選択し、本体の OK ボタンあるいはリモコンの決定ボタンを押して決定します。
カーソルボタン◀で前メニューに戻ります。
5. 設定メニューを終了するには、設定ボタンを押します。

基本設定

◎ パネル画面サイズ・・・16:9、4:3の切り替え

ポータブルの液晶画面に表示されるサイズの切り替えを行います。

16:9・・・画面のサイズが16:9になり、画面全体に画像が表示されます。

4:3・・・画面サイズが4:3になり、画面の左右は黒色になります。

切り替え後は縦横の比率が変わります。

※AV OUTは切り替わりません。TV側の画面サイズ切り替え設定で切り替えを行ってください。
設定方法はテレビの取扱説明書にてご確認ください。

◎アングルマーク・・・オン（入）、オフ（切）

複数のカメラアングルが収録されているマルチアングルつき DVD のアングル選択ができます。

※この機能はマルチアングルで作成された DVD に対応します。

◎画面表示言語・・・英語、日本語の切換

設定ページ画面に表示される言語の設定をします。

基本設定

◎スクリーンセーバー・・・オン（入）、オフ（切）

画面上の画像が静止したまま、例えばディスクを数分間一時停止や停止などしたときに画面にスクリーンセーバーが表示されます。スクリーンセーバーが表示中、いずれかの操作ボタンを押すと元の状態に戻ります。

◎ラストメモリー・・・オン（入）、オフ（切）

この機能をオンにしたとき、本機が再生中ディスクトレイを開いたり、またはディスクを停止した場合、最後に再生していた部分を記憶しておく機能です。ディスクを再生するときに記憶された箇所から再生が始まります。他のディスクを読み込むとメモリーは消えます。

また、停止■2回→電源(リモコンボタン)OFF/ONしても、メモリーは消えます。

デジタル設定

◎デュアルモノ（スピーカー設定）

ステレオ、左モノラル、右モノラル、ミックスモノラルの設定ができます。

映像設定

画質の設定をおこないます。

◎ブライトネス・・・-16～+16

◎色合い・・・-9～+9

◎コントラスト・・・-16～+16

◎彩度・・・-9～+9

選択設定

選択設定ページを開く場合、全てのメディアを取り出し、ディスクカバーを開けたままにしてください。

◎テレビタイプ・・・PAL、AUTO、NTSC の選択設定

本機は、放送方式が NTSC 方式と PAL 方式と互換性があり、どの TV 放送方式でも接続が可能です。NTSC 方式の TV に接続した場合、再生ディスクが PAL 方式であっても NTSC 信号を出力します。（日本、韓国、台湾、米国、カナダなど）

PAL 方式の TV に接続した場合、再生ディスクが NTSC 方式であっても PAL 信号を出力します。（中国、ヨーロッパ、中東など）

※間違った選択をした場合、画面が乱れたりしますので正しく選択してください。

※日本でのご使用の場合は NTSC に設定されていることを確認してください。

◎初期設定

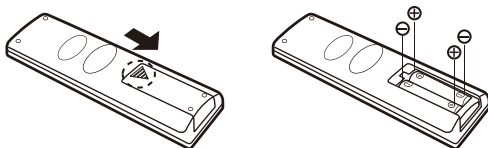
工場出荷時の初期設定に戻します。

※詳細設定が不明になった場合、初期設定を実行してください。

7 リモコン・本体の準備および接続

リモコンの準備

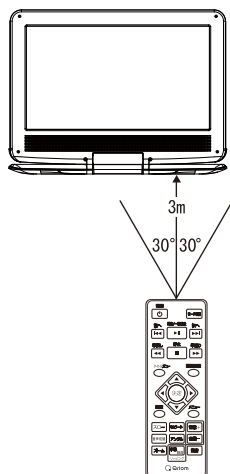
リモコンを使用する前に、リモコン背面の電池カバーを開け、単4形乾電池2本を挿入してカバーを元に戻してください。



※付属の単4形乾電池は、初期動作確認用です。お早めに新しい電池と交換してください。

リモコンの操作範囲

リモコンを使用する際は、プレーヤー本体前面の受光部から左右に各30度以内の角度で操作するようにしてください(特に本体から3m以上離れる場合)。リモコンの発信部とプレーヤー本体前面の受光部の間に信号を遮るものがないよう注意してください。



- リモコンに衝撃を与えたり水をかけたり、湿度の高い場所に放置したりしないでください。
- リモコンを直射日光のあたる場所、熱を発する機器の近く、ほこりや汚れの多い場所に放置しないでください。
- プレーヤー本体前面の受光部が直射日光や強い光にさらされていると、リモコンが正常に作動しない場合があります。その場合は光があたらないようにするか、リモコンの角度を変えたり、受光部に近づけて操作してください。

電池の交換

プレーヤーがリモコンに反応しない場合は、リモコンの電池が切れている可能性があります。新しい電池に交換してください。

外部機器の接続

外部機器と接続してお使いになる場合は、下記のように接続してください。

本製品単体でお使いになる場合は、下記の接続は必要ありません。

(1) 外部機器に出力する場合

本製品で再生している映像を外部機器に出力する場合の接続です。

(大画面テレビで DVD を鑑賞したいときなど)

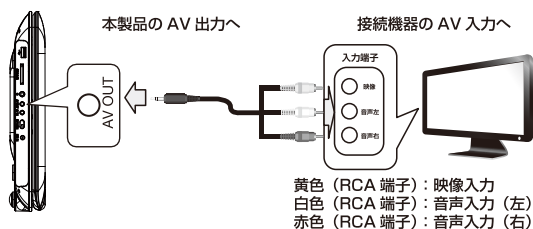
付属の AV ケーブルを使って、本製品側面の AV 出力と外部機器 (テレビ等) の入力端子を接続します。

※接続したテレビ側で外部入力モード(ビデオ等)に切り替える必要があります。

※本製品でDVDモードで再生している映像を外部に出力をすることが可能です。

※音声は本製品と外部機器の両方から出力されます。

※接続コードは、必ず付属の AV ケーブルをご使用ください。市販のコードを使用した場合、再生できなかつたり故障の原因になることがあります。



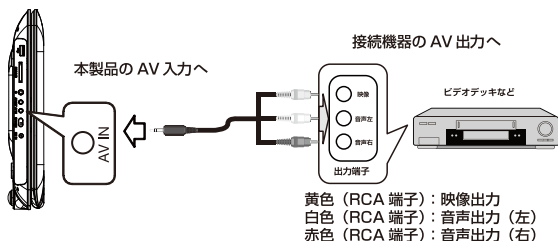
(2) 外部機器から入力する場合

本製品にビデオデッキ、ビデオカメラ等の外部機器を接続し、接続機器側で再生している映像を本製品の液晶モニターで再生します。

付属の AV ケーブルを使って、本製品側面の AV 入力と外部機器 (テレビ等) の出力端子を接続します。

※外部機器の映像を入力する場合は、本機のモードボタンまたはリモコンのモード切換ボタンで【AV IN】に切換えてください。

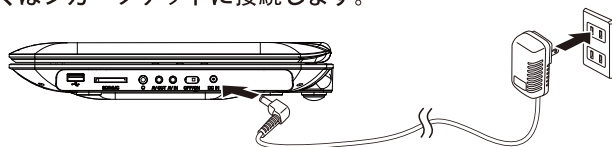
※接続コードは、必ず付属の AV ケーブルをご使用ください。市販のコードを使用した場合、再生できなかつたり故障の原因となることがあります。



電源の接続

(1) 電源アダプターを接続する場合

本体側面の電源入力に付属のACアダプターもしくはシガー電源アダプターを接続してコンセントもしくはシガーソケットに接続します。



※長期間電源につないだまま放置しないでください。未使用時は必ずプレーヤー本体から電源アダプターを取り外してください。

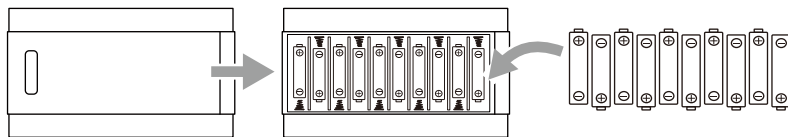
※シガー電源アダプターはDC12V車に接続できます。トラックなどの24V車、
⊕アース車では使用できません。
DC-DCコンバーターなどの電圧変換器は使用しないでください。故障の原因になることがあります。

※お車での使用について、シガー電源アダプターを差し込んだままエンジンを始動すると、機器に大きな電流が流れて破損したり、車側のヒューズが破損する事があります。
エンジン始動時は必ず、シガー電源アダプターを抜いてください。

乾電池・充電電池の挿入

※ACアダプターもしくはシガー電源アダプターで本製品をご使用の場合は、電池を挿入する必要はありません。

1. 本体電源スイッチをOFFにします。
2. 外付け乾電池ケースのふたをスライドして開きます。
3. 単3形充電電池の極性を確かめながら、電池を10本を外付け乾電池ケースに入れます。



※電池は外付け乾電池ケースの表示に合わせて正しく入れてください。電池1本の極性(+/-)が逆でも動作する場合がありますが、発熱、液漏れ、破損の原因になります。

※充電した電池と放電した電池、銘柄の違う電池、新旧の電池を混ぜて使用しないでください。発熱、液漏れ、破損の原因になります。

4. 外付け乾電池ケースのふたを閉めます。

※電池は、付属していません。

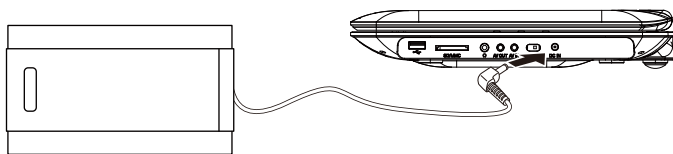
※電池は、単3形ニッケル水素充電電池(1900mAh以上)10本または単3形アルカリ乾電池10本をお使いください。

※不要になった電池は、各地方自治体の指示などに従って、リサイクルまたは廃棄を行ってください。

乾電池・充電電池での使用について

<外付け乾電池ケースとの接続方法>

付属の外付け乾電池ケースに単3形乾電池10本を入れて、本体側面のDC電源入力端子に接続します。



※外付け乾電池ケースの電源コードは、側面の溝に収納できます。

乾電池・充電電池で使用する際は下記の注意事項をよくお読みになり、必ず注意事項を守ってご使用ください。

- マンガン乾電池をお使いになると、ニッケル水素充電電池より早く電圧が低下することがあり、機器の期待する性能が維持できなくなります。
- 長時間使わない場合は、必ず電池を機器から取り出してください。電池が液漏れなどを起こし、機器や充電電池に損傷を与えます。
- 本製品には、充電機能はありません。充電電池を充電する場合は、充電電池を本製品から取り出し、お使いの充電電池に適合する市販の充電器をお使いください。
- 電池でお使いの場合は、電池の容量を消費すると、映像、音声が歪んだり、ノイズが出たり、LCDパネルの表示が消えたりします。そのような場合は、すぐに電源スイッチをOFFにしてください。充電電池をお使いの場合は、電源スイッチをONのままにしておくと、充電電池が過放電し、液漏れや劣化の原因になります。
- スタンバイ状態でも電池は消耗します。お使いにならないときは、本体電源スイッチをOFFにしてください。
- ご使用の乾電池、充電電池および充電器の説明書や注意書きをよくお読みください。

以下のような電池の使い方はしないでください。

<p>+ (プラス) と (-) を逆に入れて使う</p>	<p>新しい電池と古い電池と一緒に使う</p>	<p>電池を入れたまま長期間使用しない</p>
<p>メーカーやブランドの違う電池を一緒に使う</p>	<p>種類の違う電池と一緒に使う</p>	

ニッケル水素充電機をご使用の際の注意

現在、いろいろな種類のニッケル水素充電機が販売されていますが、本機には容量が1900mAh以上のものをお使いください。

容量が少ない充電機では、充電機持続時間が大幅に短くなる場合があります。

また、1900mAh以上の充電機であっても、劣化している場合や性能によっては、充電機持続時間は短くなる場合があります。

電池持続時間の目安

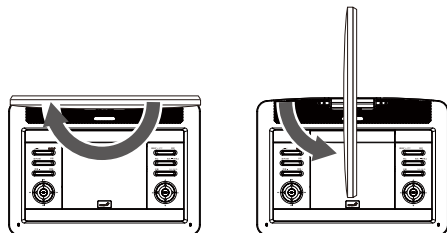
使用電池	電池持続時間
ニッケル水素充電機	約3時間
アルカリ乾電池	約3時間

※使用する電池、使用される環境により電池持続時間が前後いたします。

LCDパネルを回転する

LCDパネルを回転して使うことができます。

1. LCDパネルを開いた状態で時計回り(右方向)に180°回転します。
2. LCDパネルを開いた状態で反時計回り(左方向)に90°回転します。



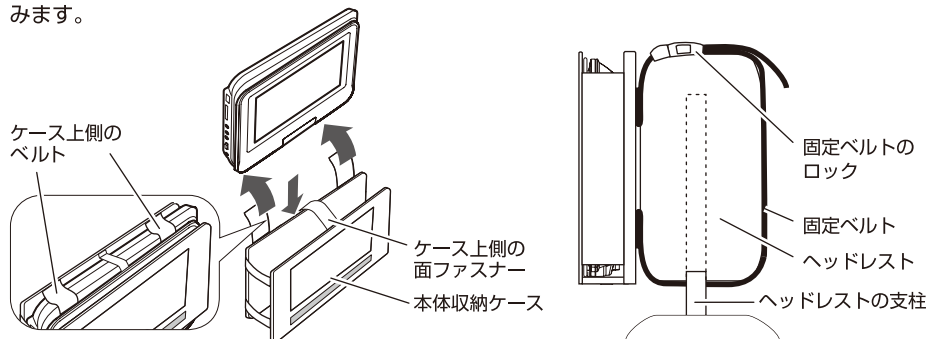
※ LCDパネルは、時計回りに180°、反時計回りに90°以上は回りません。これ以上にLCDパネルを回転させようとしていたり、必要以上の力でLCDパネルを回転させないでください。

※ LCDパネルの液晶部を持って回転させないでください。

本体収納ケースを使う

車のヘッドレストに本体収納ケースを取り付けて使うことができます。

1. LCDパネルを開いた状態で時計回り(右方向)に180°回転します。
2. 本体収納ケース上側の面ファスナーテープを開き、本機を本体収納ケースに入れます。
3. 本機をケースに入れ、LCDパネルと操作部側の間に収納ケース上側のベルトを入れます。
4. 本体収納ケース上側の面ファスナーテープを閉めて、本機をしっかりと固定します。
5. 固定ベルトをヘッドレストの支柱の内側に通し、固定ベルトのロックをカチッと鳴るまで差し込みます。



※ リモコンで操作するときは、リモコンをリモコン受光部に向けてください。



※ 運転に支障をきたす場所、または車の安全装置の動作に支障をきたす場所には設置しないでください。

※ 背もたれとヘッドレストが一体式のシートなど車種の構造上取り付けられない場合があります。

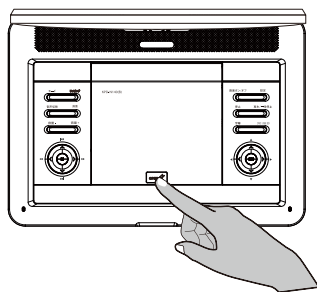
※ 運転前には、本体収納ケースの固定ベルトがしっかりと取り付けられていることを確認してください。

8 DVDモードで再生 (DVD/SD カード/USB メモリ)

ディスク (DVD/CD) を入れる

全ての接続が正しく完了しましたら、プレーヤーのスイッチを入れて再生してみましょう。

1. ディスプレイを開けて電源を入れます。
2. オープンボタンを押してディスクカバーを開けます。
画面に【開く】と表示されます。
3. ディスクをトレイの上に置きます。
(カチッと音がするまでしっかりと中央のホルダーにはめ込みます。)
4. ディスクカバーを閉めます。
【読み込み中】と画面に表示され自動的に再生が始まります。



オープンボタンを押す。

SDカード/USBメモリを再生させる

市販のSDカードやUSBメモリに入れた動画・静止画や音楽を再生させることができます。

1. 本製品の側面にあるSDカードスロットおよびUSBポートの挿入口に動画・静止画または音楽の入ったSDカードもしくはUSBメモリを挿入します。
2. 本製品の電源を入れます。
3. 本体もしくはリモコンのモード切換ボタンを押します。
4. ▲▼ボタンを押して挿入デバイスを選択し、本体のOKまたはリモコンの決定ボタンを押します。
5. 画面メニューにしたがって再生したいデータを▲▼◀▶ボタンで選択し、本体のOKまたはリモコンの決定ボタンを押します。
画面メニュー内容にしたがって再生をお楽しみください。

※一般的にCDやDVD(市販されているもの)以外の音楽、動画データについては、本機で再生できない場合がありますので予めご了承ください。

※本機で再生可能な動画データは標準画質(SD画質)までです。HD画質の動画は再生できませんので予めご了承ください。

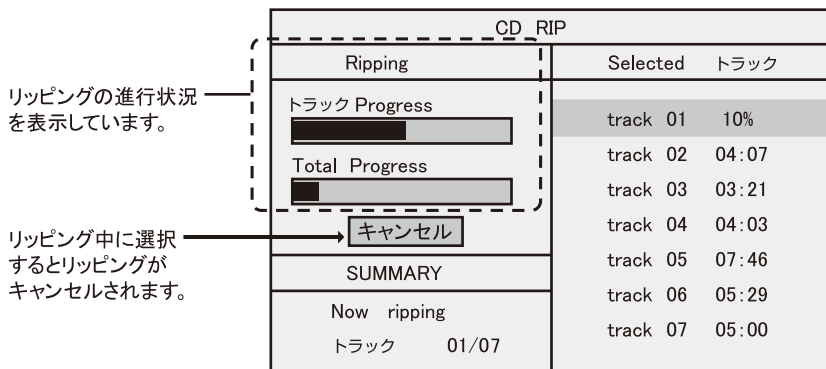
※本機にDVD・CDディスクが入っていないときは自動的にデバイスを認識します。

9 CDリッピング(ダイレクト録音)機能

リッピング(変換)する

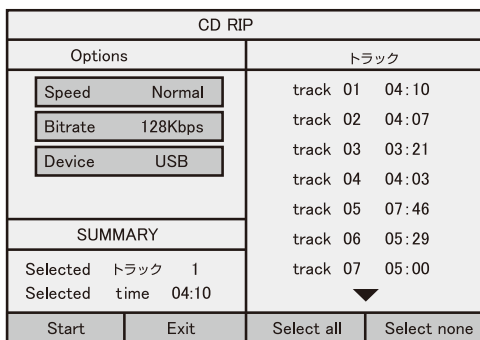
本製品では、音楽CDのデータをパソコンやMP3プレーヤーで読み込み可能なMP3形式にリッピング(変換)して、SDカードまたはUSBメモリに保存にすることができます。

1. 音楽CDをプレーヤーにセットします。
2. 保存先のメディア(SDカードまたはUSBメモリ)を本体側面のSD/MMCカードスロットまたはUSBポートに接続します。
3. 本体のリッピングボタンまたはリモコンの字幕/録音ボタンを押します。
 ※保存先のメディアが接続されていないと、本体のリッピングボタンは動きません。
 本体のリッピングボタンを押すと、CDリッピング画面が表示され録音が始まります。
 CDリッピングが終了すると、CDリッピング設定画面が表示されます。



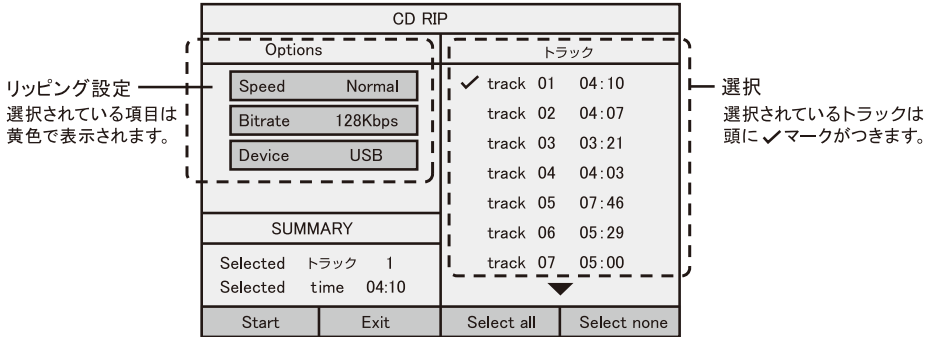
CDリッピング画面

リモコンの字幕/録音ボタンを押すと、CDリッピング設定画面が表示されます。



CDリッピング設定画面

4. CDリッピング設定画面では、リモコンのカーソルボタン▲▼◀▶で設定項目を選択し、設定値を変更します。



- Speed : 変換速度を Normal (ノーマル) または Fast (高速) に設定します。
 - Bitrate : ビットレートを以下の値から設定できます。
96kbps、112kbps、128kbps、192kbps、256kbps、320kbps
ビットレートの値が大きいと音質はよくなりますが、データの容量が大きくなります。
 - Device : 保存先のデバイスを USB (USB メモリ) または SD (SD カード) に設定します。
本体に何も接続されていないと None が表示されます。
5. リモコンのカーソルボタン ▶ でトラック選択に移動し、リモコンのカーソルボタン ▲▼ でリッピング (変換) したいトラックを選び、リモコンの決定ボタンを押します。
- Select all : 全てのトラックを選択します。
 - Select none : 選択したトラックを解除します。
6. CDリッピング設定画面でリッピング (変換) を開始するには、カーソルボタン ▲▼◀▶ で [Start] を選択し、リモコンの決定ボタンを押します。
CDリッピング画面が表示され録音が始まります。
CDリッピングを途中で終了するには、[キャンセル] を選択し、リモコンの決定ボタンを押します。
CDリッピングが終了すると、CDリッピング設定画面に戻ります。
7. リッピング (変換) を終了するには、カーソルボタン ▲▼◀▶ で [Exit] を選択し、リモコンの決定ボタンを押します。
CDの再生画面に戻ります。

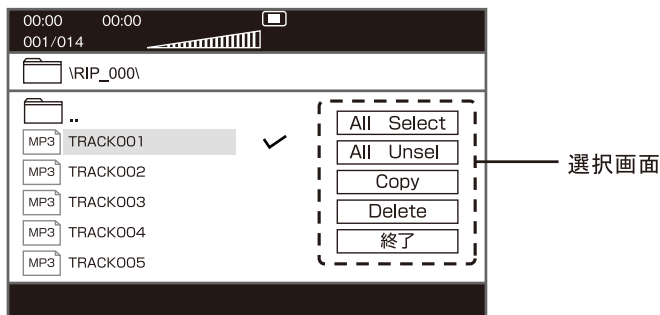
※ リッピング (変換) されたトラックは、保存先メディア (SD カードまたは USB メモリ) の「RIP_000」フォルダに保存されます。
 ※ 「RIP_000」フォルダは自動で作成されます。
 ※ 保存されるデータは、「TRACK001」・「TRACK002」・「TRACK003」・・・のファイルとして保存されます。

データの削除、コピー

SDカードまたはUSBメモリに保存されたリッピング(変換)データを削除したり、コピーできます。

1. リッピング(変換)されたデータのあるメディア(SDカードまたはUSBメモリ)を本体側面のSD/MMCカードスロットまたはUSBポートに接続します。
ファイル表示画面が表示されます。
2. 本体の録音ボタンまたはリモコンの字幕/録音ボタンを押します。
ファイル表示画面に選択画面が表示されます。

ファイル表示画面



3. リモコンのカーソルボタン▲▼◀▶で削除またはコピーするファイルを選択し、決定ボタンを押します。
ファイルの右にチェック(✓)が付きます。
4. リモコンのカーソルボタン▲▼◀▶で、ファイル表示画面の選択画面からコピーや削除などの項目を選択します。
 - All Select: 全てのファイルにチェック(✓)を付けます。
 - All Unsel: 全てのファイルからチェック(✓)を外します。
 - Copy: チェック(✓)を付けたファイルをコピーします。
 - DeLete: チェック(✓)を付けたファイルを削除します。
 - 終了: 選択画面を終了します。

※ ファイルのコピーはSDカードとUSBメモリ間で行うこともできます。SDカードとUSBメモリの両方が本体に差し込まれていないとコピーできません。
※ SDカードまたはUSBメモリからCDにコピーすることはできません。

11 ご注意

- 本製品を運用した結果のいかなる影響についても、弊社は一切の責任を負いかねます。
- 本取扱説明書は株式会社山善が著作権を保有します。
- 株式会社山善の著作物の一部または全部を無断で複製、転写、改変することを禁止します。
- 一般に会社名、製品名は各社の商標または登録商標です。
- 本製品および本取扱説明書の内容について、不審な点やお気付きの点がございましたら弊社までご連絡ください。
- 本製品は日本国内でのみ使用されることを前提として開発・製造されています。
- 本製品を日本国外で使用された場合、弊社は一切の責任を負いかねます。
- また、弊社は本製品に関して日本国外での技術サポート、アフターサービスなどを行っておりません。あらかじめご了承ください。

本書の内容につきましては、万全を期してありますが、ご不明な点や誤りなどございましたら、販売店もしくは弊社にご連絡ください。

また、上記に関わらず、以下の事項につきましては弊社は一切の責任を負いかねます。

- ①弊社の責任によらない製品の損傷、破損、または改造による故障や不具合
 - ②本製品をお使いになって生じたデータの消失または破損
 - ③本製品のために費やした時間、経費
 - ④本製品に付随する、または運用の結果もたらされた損害
 - ⑤本製品によりもたらされるべき、直接的、間接的なシステム、機器およびその他の損害
- また、本書に乱丁、落丁があった場合はお取り替えいたしますので、弊社までご連絡ください。

著作権について

- 市販の音楽 CD などを権利者の承諾なしに複製することは、個人で楽しむ以外は著作権法により禁止されています。個人で楽しむ目的であっても、作成した音楽データを権利者の承諾なしに第三者に配布することはできません。個人で楽しむ目的で録音した音楽データを、権利者の承諾なしに故意にインターネット上で配布することは、著作権の「公衆送信権」「送信可能権」に抵触し、行なった場合は法律による処罰の対象になります。

個人情報のお取り扱いについて

- 株式会社山善およびその関連会社は、お客様の個人情報やご相談内容を、ご相談への対応や修理、その確認などのために利用し、その記録を残すことがあります。また個人情報を適切に管理し、修理業務などを委託する場合や正当な理由がある場合を除き、第三者には提供しません。

12 主な仕様

製品名称	14インチポータブルDVDプレーヤー
型番	KPD-N140(B)
液晶ディスプレイ	14インチ (16:9) TFT LCD
解像度	1366×768
視野角度	上下70度 左右100度
カラーシステム	NTSC/PAL 自動変換
再生可能メディア	DVD、DVD-R/DL、DVD-RW CD、CD-R/RW、SD/USBメモリー(最大32GBまで)
再生可能フォーマット	DVD-Video、DVD-VR CPRM、CD-DA、MPEG4、MP3、JPEG ※著作権保護管理されたファイルは本機では再生できません。
入力端子	AV入力端子
出力端子	AV出力端子、イヤホン端子
使用電源	AC100～240V(家庭用AC電源アダプター)
	DC12V(車載用シガー電源アダプター) ※トラックなどの24V車、⊕アース車では使用できません。
	ニッケル水素充電電池 単3形×10本 1900mAh以上(別売)又は アルカリ乾電池 単3形×10本(別売)
温度	使用温度:0℃～40℃ 保存温度:-10℃～60℃
消費電力	約12W
外形寸法	(W)350×(D)250.5×(H)45mm
本体質量	約1410g(本体のみ)

※使用およびデザインは、改良のため予告なく変更することがあります。

※上記のフォーマットであってもディスクの相性やデータの作成方法などによって再生できない場合がございます。

再生メディアに関するご注意！

DVD-R/DL、DVD-RW

本機はビデオモードまたは CPRM 方式で記録し、かつファイナライズ処理されたものに関して再生が可能です。双方とも記録状況によっては再生できない場合があります。

CD-R/RW

本機の対応フォーマットで記録され、記録終了時にセッションクローズまたはファイナライズされた音楽用 CD-R/RW 再生に対応しています。双方とも記録状況によっては再生できない場合があります。

13 故障かなと思ったら

症状	原因	処置
再生しない	本体内部で結露していませんか？	常温で1時間待ってから、ご使用ください。
	規格以外のディスクが入っていませんか？	DVD、CDなどの製品にあった規格のディスクをご使用ください。
	ディスクが汚れていませんか？	ディスククリーニングしてください。
	ディスクのラベル面が下向きになっていませんか？	ラベル面を上に入れ直してください。
映像が出ない	本体とアダプターはきちんと接続されていますか？	ACアダプターまたはDCシガーアダプターを接続してください。
音が出ない	消音設定がオンになっていませんか？	リモコンの消音ボタンを押して、消音設定を解除してください。
	音量が下がっていませんか？	音量を適度に調節してください。
イヤホンから音が出ない	イヤホンの接続が不安定になっていませんか？	イヤホン端子にプラグをしっかり差し込んでください。
	消音設定がオンになっていませんか？	リモコンの消音ボタンを押して、消音設定を解除してください。
	音量が下がっていませんか？	音量を適度に調節してください。
音が飛ぶ・途切れる	振動が大きい環境で使用していませんか？	振動の少ない環境で使用してください。
	ディスクが汚れていませんか？	ディスククリーニングしてください。
外部機器から映像・音声が出ない	外部機器と正しく接続されていますか？	外部機器との接続を確認してください。接続機器の入力設定を確認してください。
リモコン操作ができない	電池の極性（プラス・マイナス）はありますか？	表示に合わせて正しく入れ直してください。
	電池が消耗していませんか？	新しい電池と交換してください。
	リモコン受光部前に障害物などありませんか？	障害物を取り除いてください。
映像が乱れる	ディスクが汚れていませんか？	ディスククリーニングしてください。
外部のテレビで映像が乱れる	ビデオデッキなど接続していませんか？	本機からの映像をビデオデッキやビデオ内蔵テレビを通してご覧になるとコピー防止の働きにより、正常な映像にならないことがあります。直接本製品とテレビを接続してください。

ディスクが再生しない・読み込まない場合

ディスクやSDカード/USBメモリーを再生しない、または読み込まない場合は、下記の項目をご確認ください。

データを読み込むまでに時間がかかる

DVD-R/Wディスク※は、市販のディスクよりもレーザーの反射率が低い場合があります。反射率が低い場合、ディスクのデータを読み込むのに時間がかかります。さらにデータが読み込めない場合は、LCDパネルに「ディスクがありません」と表示され、ディスクの読み込みは止まり、回転も停止します。

※ディスクはファイナライズしてから再生してください。

仕様に合っていないディスクを再生している

ディスクは本機で再生可能なメディアですか。本機で再生可能なディスクをお使いください。
⇒「再生可能なディスク」(5ページ)をご覧ください。

データを読み込まない

ディスクのフォーマットが本機で再生可能な仕様に合っても、データの作成方法やディスクとの相性によりデータを読み込まず再生できない場合があります。

SDカード/USBメモリーの映像が再生されない

SDカードまたはUSBメモリーを使って再生可能なファイル形式は、下記のとおりです。
映像: MPEG1/2、JPEG、PNG、AVI
音声: MP3

ディスクが汚れている

ディスクをクリーニングしてください。
⇒「ディスクの取り扱いについて」(4、5ページ)をご覧ください。

ディスクのラベル面が下向きになっている

ディスクのラベル面を上向きにして、入れ直してください。

本機の内部が結露している

本機を常温に置いて1時間待ってから、お使いください。
⇒「結露(露付き)について」(7ページ)をご覧ください。

MEMO

MEMO

MEMO
